

事業の実施状況等について

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

【東淀川区】 (受託者等:)

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析(年度当初)

項目		地域活動協議会の状況についての分析(受託者等記入)
百 律 的 運 営 に 向 け た 地 域 活 動 協 議 会 の 取 組 (イ メ ー ジ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析	/
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」についての分析	
	(3)「Ⅲ 組織運営」についての分析	
	(4)「Ⅳ 区独自取組」についての分析 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	

区の評価及び意見について

1 地域活動協議会の状況についての分析(年度当初)

項目		受託者等の分析に対する評価及び意見(区記入)
百 律 的 運 営 に 向 け た 地 域 活 動 協 議 会 の 取 組 (イ メ ー ジ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析	全ての地域においてステージ1はクリアできている。 担い手の固定化・高齢化が見られ、今後も活動が持続できるかが課題。
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」についての分析	全ての地域においてステージ1はクリアできている。 担い手の固定化・高齢化が見られ、今後も持続できるかや新たな取組に着手することが出来るかが課題。
	(3)「Ⅲ 組織運営」についての分析	ほとんどの地域において議決機関が適正に行われ、広報も全ての地域が自主的に行っている。 一部、会長の退任により事務局機能の低下がみられる。 区の説明不足により、全ての地域において、監事による監査が会計監査のみとなっており、役員への監査が未実施である。
	(4)「Ⅳ 区独自取組」についての分析 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	事業者選定時等における企画提案(事業計画書)の概要(受託者等記入)
(1)「I 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容	
(2)「II つながりの拡充」にかかる支援の提案内容	
(3)「III 組織運営」にかかる支援の提案内容	
(4)「IV 区独自取組」にかかる支援の提案内容 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	

区の評価及び意見について

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	提案内容に対する評価及び意見(区記入)
(1)「I 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保のため、取り組みやすいCB/SBの手法を例示し”できない”イメージを払拭しながら取り組みを進めていく。 ・区役所と大阪経済大学との連携をきっかけに、大学の研究成果を地域活動協議会が活用することで活性化を図る協働モデル案を企画。また、同大学との協働プログラムにより、区内の企業を対象に経営課題解決のためのセミナーを開催し、企業のニーズを満たす内容のプログラムを作成できればSBに展開可能だということを実感していただく。 ・大阪市民活動総合ポータルサイトの活用をはじめ、様々な財団等の助成金を紹介していく。 ・平成29年度各地域活動協議会事業計画の一覧表と平成27年国勢調査から見える地域の特徴を網羅したレポートを作成し、地域担当職員に研修を行うことで、地域担当業務の強化を図った。(17回89名参加) ・東淀川区BCP運営会議を開催することで、東淀川区内の企業のBCPの策定と地域連携の推進を図る。(1回実施/2回中) ・地域版保健福祉計画策定に向けた支援を地域担当者が中心となって進めていく。
(2)「II つながりの拡充」にかかる支援の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・異次元交流ライブを開催して終わりではなく、参加いただいた様々な主体者との繋がりを見える化し、参加していない方以外にも交流の芽を広げていく。「異次元交流ライブ」の開催(1回実施/2回中) 関連して地活協、企業、NPOへの訪問、ヒアリング(35回) ・地域活動協議会の行う取り組みについて、様々な広報媒体の活用を提案し、地域内外の情報発信力を高める。 ・区政委員や地域の有志を集め、プロジェクトを立ち上げ、彼らが自主的に企画した事業(まち歩きなど)の支援を行うことで、東淀川区の魅力を発見・発信を行う。(会合実施7回、地域散策1回) ・東淀川区商店会連盟をはじめ、区内の商店街に商店街支援の情報を提供することで、中心市街地活性化に努める。 ・大阪経済大学のゼミとタイアップし課題解決のための手法を講義し、某地域で実践。地域のマスコットキャラクターの知名度アップを含むプロモーション案を地域の方々に企画提案した。 ・地域の会館等を情報発信基地と位置づけ、さまざまなステークホルダーが参集し、地域の活性化に向けた意見交換ができる場づくりを企画。将来的には、ウェブ、情報紙等で課題解決のためのディスカッション等をコンテンツとして発信する。 ・高齢者食事サービスにおいて、食後の時間を活用し利用者の方々に役立つ情報を提供することを地活協と大学と区役所で企画。大学の知見を活かした、健康体操、バランス保持のための身体測定等のプログラムをゼミ生とともに地域の高齢者の方々に体験していただく。 ・大学生インターンシッププログラム(1回) ・地域活動の入門編にあたる誰もが気軽に参加、交流できる「We Love 東淀川」開催(3回実施/6回中) ・他地活協の取り組みを事業に参加しながら紹介していく地活協つながり拡充支援(12地域15回)
(3)「III 組織運営」にかかる支援の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> 決算書だけでなく議決内容についても広報紙・電子媒体で発信し、民主的で透明性のある組織運営を行っていることを発信していく。また、広報担当者勉強会を開催し、SNSの注意すべき点や魅力的な紙面づくり等のスキル向上を図る。 関連して個別支援も行っていく。 ・大道南地活協・広報支援(4回) ・西淡路地活協・広報支援(2回) ・下新庄、東淡路・柴島地活協広報支援(1回)
(4)「IV 区独自取組」にかかる支援の提案内容 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの)	

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

3 事業の実施体制等

項目	事業者選定時における企画提案(事業計画書)の概要(受託者等記入)
(1)自由提案による地域支援の提案内容 (企画提案書(事業計画書)等で受託者等が提案したもの)	/
(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	
(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)の内容(受託者等記入)	重点的に取り組む理由(受託者等記入)
/		

5 現時点での支援の実施状況に対する自己評価(受託者等記入)

項目	自己評価(受託者等記入)
(1)現時点での支援の実施状況に対する自己評価	/
(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え	

区の評価及び意見について

3 事業の実施体制等

項目	提案内容に対する評価及び意見(区記入)
(1)自由提案による地域支援の提案内容 (企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・17地域を4グループに分け、補助金審査、運営支援について担当係長4名・係員5名にて対応する。 ・3名の地域づくりアドバイザーは、担当地域を持つわけではなく、重点施策について地域活動協議会のステージ2・3に向けた活動支援や、校区を越えた繋がりづくりを行う。 ・地域担当制として区役所各担当課から地域担当者を任命し、それぞれが担当する地域の地域版保健福祉計画策定支援を行う。(地域担当リーダー22名、地域担当者45名)
(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	
(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)に対する評価及び意見(区記入)
異次元交流ライブ	これまで8回実施し、地活協・企業・教育機関等の参加者同士の繋がりが活発になってきた。継続実施し、繋がりを可視化し拡がりを加速したい。
地域と大学連携	2年越しでようやく連携が具体的になってきた。対象地域をモデル的に位置づけ、他地域に主体的に拡げていける地域をめざす。
住民主体のプロジェクト実施	28年度末からの取り組みとして進めている。ようやくプロジェクトチームの一部に主体的な行動が見られている。小さくても取り組みを形にする意欲があり、引き続き後方支援をしていきたい。
地活協の広報力向上	広報担当者向けの学習会を開催し、広報活動の重要性と魅力的な広報紙の作りかたやWEB発信の方法を学ぶことで、広報担当者のスキルアップと広報活動の活性化と地域活動協議会全体の情報発信力が向上することで、地活協の認知度をあげていく。(H29.12開催予定)

5 現時点での支援の実施状況

項目	評価及び意見(区記入)
(1)現時点での支援の実施状況(目標の進捗状況)	地域づくりアドバイザーが主に担う施策については順調に進捗しているが、包括外部監査の指摘や住民監査請求を受けての地域活動協議会への認定要件の確認をはじめとした運営面の指導について、地域活動協議会事務局と担当職員の負担が大きくなってきている。
(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え	地域活動協議会事務局の負担増に対しては、事務局の重要性を区役所としても広報し、担い手の増加に繋げる支援を行っていく。地域活動協議会の事務局機能の確認や指導について、地域担当職員も同行し、より多くの職員が地域活動協議会の仕組みを理解することで、区役所の支援機能を強化していく。